



油圧パワーパック

プロパス 200 トップドレッサ 牽引シャーシモデル用

モデル番号 44713—シリアル番号 407600000 以上

取り付け要領

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細は、この冊子の巻末にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

⚠ 警告

カリフォルニア州 第65号決議による警告

カリフォルニア州では、この製品に使用されているエンジンの排気には発癌性や先天性異常などの原因となる物質が含まれているとされております。

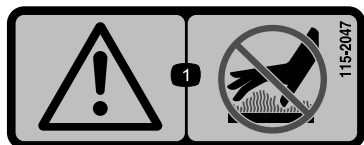
バッテリーやバッテリー関連製品には鉛が含まれており、カリフォルニア州では発ガン性や先天性異常を引き起こす物質とされています。取り扱い後は手をよく洗ってください。

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼り直してください。



115-2047

decal115-2047

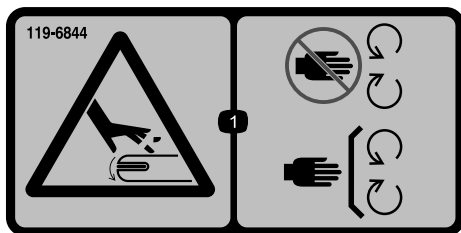
1. 警告高温部に触れないこと。



119-6807

decal119-6807

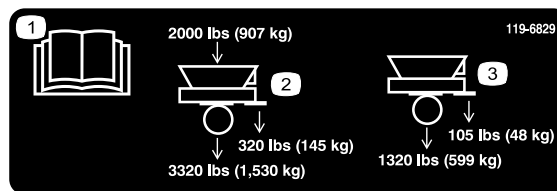
1. 警告ここに乗らないこと



119-6844

decal119-6844

1. 切傷や手足の切断の危険コンベアに近づかないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けしておくこと。



119-6829

decal119-6829

1. オペレーターズマニュアルを読むこと。
2. 最大負荷 907 kg を積んだ場合、車軸重量は 1,530 kg となり、トンゲ重量は 145 kg となる。
3. 無積載状態で車軸重量は 599kg あり、トンゲ重量は 48kg である。



⚠ WARNING: Cancer and Reproductive Harm - www.P65Warnings.ca.gov.
For more information, please visit www.ticoCProp65.com

CALIFORNIA SPARK ARRESTER WARNING

Operation of this equipment may create sparks that can start fires around dry vegetation. A spark arrester may be required. The operator should contact local fire agencies for laws or regulations relating to fire prevention requirements.

133-8062

decal133-8062

133-8062

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
油圧オイルタンクアセンブリ	1	機械の準備を行う。
ホースガイド取り付けブラケット	1	
エンジンアセンブリ	1	エンジンを取り付ける。
ボルト $\frac{1}{2}$ x 5"	2	
バッテリー	1	
バッテリー押さえ	1	
バッテリー固定ストラップ	1	
バッテリーボルト	2	
バッテリーボルトスペーサ	2	
ワッシャ	2	
フランジナット	2	
ホースガイド	1	油圧システムを取り付ける。
油圧戻りホース#3 ホース	1	
油圧吸い込みホース#4 ホース	1	
ボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	4	
ロックナット $\frac{1}{4}$ "	4	
ボルト $\frac{3}{8}$ x 1"	4	
ロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
平ワッシャ	4	
必要なパーツはありません。	—	組み立てを完了します。

重要このキットは牽引車両によって牽引されるプロパス専用です。

機械の準備を行う

▲ 注意

外部の油圧系および電気系の接続を外さずにこのキットを取り付けると、感電や高圧の油圧オイルの噴出などによる重大な人身事故を招く恐れがある。

このキットを取り付ける前に、外部の油圧系および電気系の接続をすべて外すこと。

1. 平らな床の上に機体を止め、ジャッキスタンドを立て、トラクションユニットから機体を切り離し、車輪の前後に輪止めを掛ける。
2. 機体用のオペレーターズマニュアルの説明に従ってツインスピナーを外し、油圧ホース高圧側と戻り側を固定保護する。

重要シャーシの後壁に既に穴があけてあるプロパスもあります。後壁にすでに穴が開いている場合には、**エンジンを取り付ける (ページ 5)**を参照してください。

3. 油圧オイルタンクを取り付けられるように、シャーシの後壁についている取り付けボルト2本を外して保管する。
4. シャーシの後壁に油圧オイルタンクを取り付けることになるので、この部分に障害物がないことを確認する。
5. 油圧タンクの梱包を解く。
6. 油圧タンクを下から支えながら、タンクをシャーシの後壁に取り付ける。タンクが左右方向の中央にあり、また垂直に載っていることを確認する [図 1](#)。

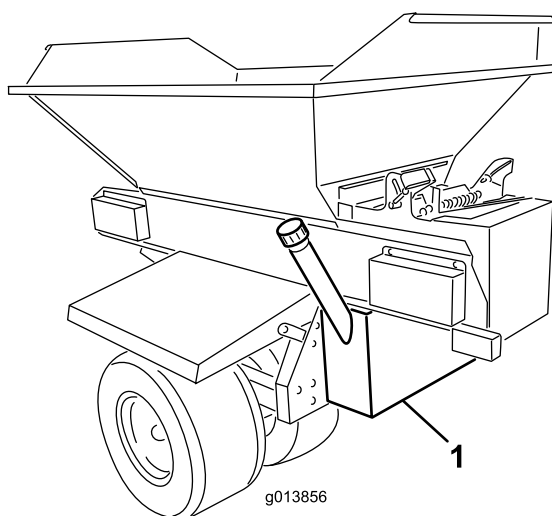


図 1

1. 油圧オイルタンク

7. オイルの入口フィッティングと出口フィッティング、およびホースガイドの取り付けブラケットがすべてシャーシの後部壁にあいている丸穴に無理なく通ることを確認する [図 2](#)。

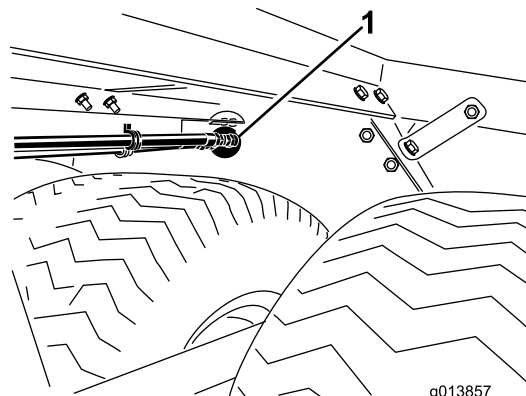


図 2

1. シャーシの穴
8. 油圧タンクが水平であることを確認する。
9. クランプなどを使って、油圧タンクをシャーシの後壁の所定位置にしっかりと仮止めする。
10. 油圧タンクが水平であることを確認する。
11. 油圧タンクの取り付け穴の位置を、シャーシの後壁にマーキングする。
12. 油圧タンクのクランプをゆるめてタンクを外す。
13. マーキングした穴の中心位置にポンチを打つ。
14. マーキングした各位置に、直径 7/16"11.11 mm の穴を開ける。
15. 各穴のバリを除去する。

エンジンを取り付ける

1. ヒッチチューブがきれいなこと、ゴミや土がついていないことを確認する。
2. エンジンアセンブリの梱包を解く。
3. エンジン取り付けブラケットをエンジン取り付けプレートに固定しているボルト2本をゆるめる取り外さないこと 図 3。

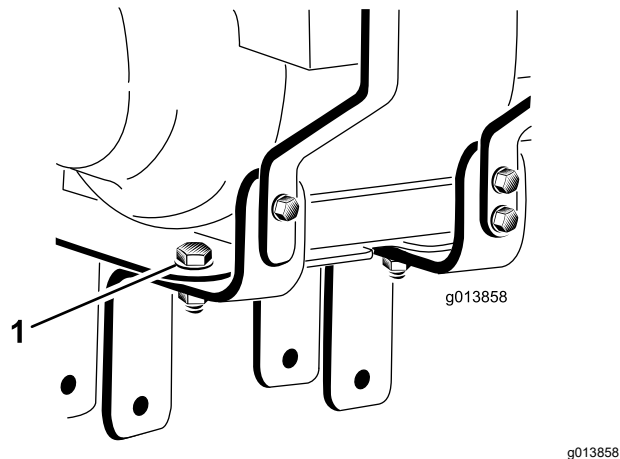


図 3

1. 取り付けボルト2本

4. バッテリー押さえ用ストラップを固定しているナット2個を外し、ナット、ワッシャ、ボルトチューブを脇によける 図 4。

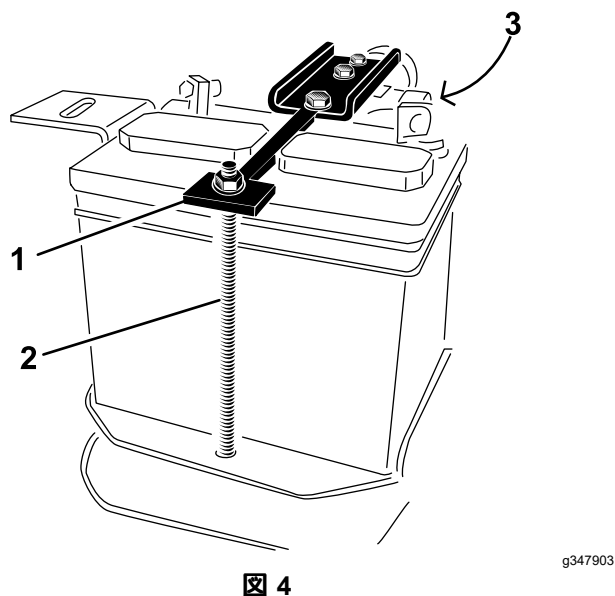


図 4

1. バッテリー押さえストラップ
2. バッテリー押さえボルト2本
3. トランスミッションオイルフィルタ図示せず

5. バッテリーをアセンブリの所定位置から外し、トランスミッションオイルフィルタをベースプレートの上にのせる。

6. バッテリーを充電する; バッテリーを充電する (ページ 12)を参照。
7. 二人掛かりでエンジンアセンブリをヒッチチューブに載せる。

エンジンの取り付けブラケットがヒッチチューブ 図 5をまたいでいること、また、エンジン取り付けプレートの後部とヒッチチューブのレシーバとの距離が約 25 mmであることを確認する 図 6。

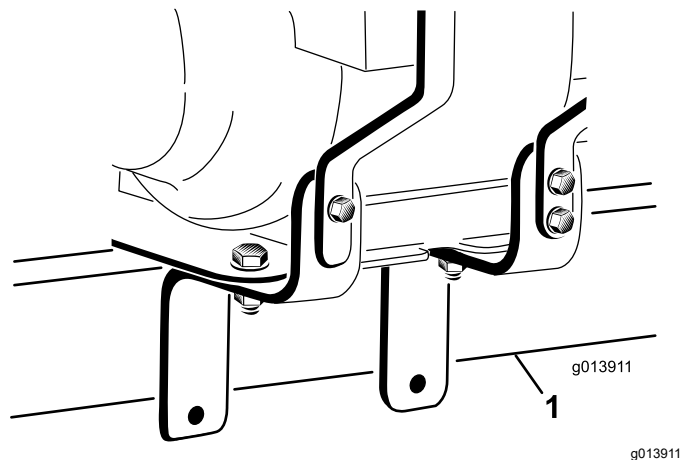


図 5

1. ヒッチチューブ

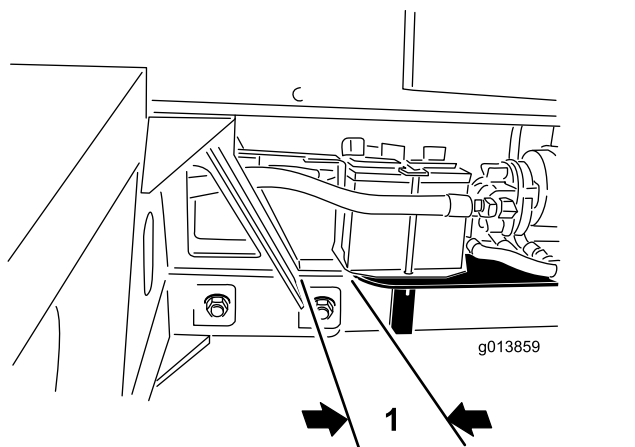
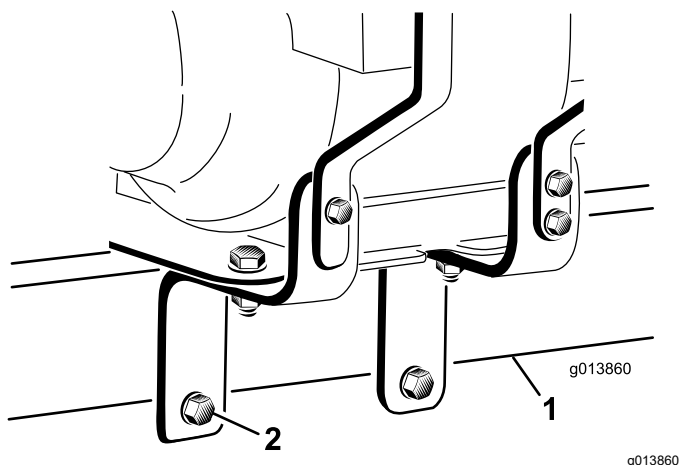


図 6

1. 25 mm

8. エンジン取り付けブラケットの穴にボルト2本 $\frac{1}{2}$ " x 5"を通す エンジン取り付けブラケットの各外側面に平ワッシャが1枚当たるように、また、各ボルトがヒッチチューブの底を貫通するように取り付けること。ナット2個 $\frac{1}{2}$ "を図7のように手締めする。

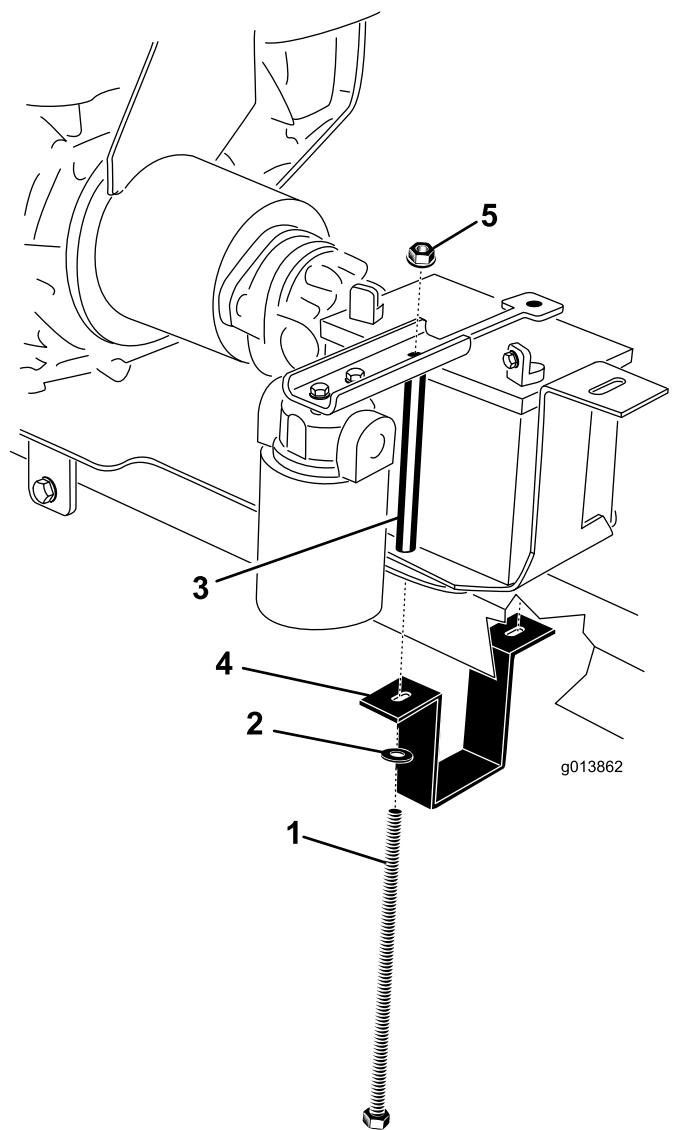


1. ヒッチチューブ 2. 取り付けボルト2本

9. エンジン取り付けブラケットを調整して、このブラケットがヒッチに対してしっかり取り付くようにする。ステップ3でゆるめたボルト2本を十分に締め付ける。
10. エンジン取り付けプレートが水平になっていることを確認し、エンジン取り付けブラケットの下穴を通してあるボルト2本 $\frac{1}{2}$ " x 5"をしっかり締め付ける。
11. バッテリートレイにバッテリーを載せる端子が図8のようになるように載せること。
12. バッテリーにバッテリー押さえを取り付ける図8。
13. バッテリー取り付け用ストラップを、ヒッチチューブの下に保持する図8。
14. 右側では、ワッシャ、バッテリー押さえストラップ、エンジン取り付けプレート、バッテリートレイ、バッテリーボルトスペーサ、バッテリー押さえを貫通させて、ボルトを取り付ける。そしてフランジナットで仮止めする図8。

注 必ず、ボルトは下から通すこと。

15. 左側では、ワッシャ、バッテリー押さえストラップ、エンジン取り付けプレート、バッテリートレイ、バッテリーボルトスペーサ、バッテリー押さえを貫通させて、ボルトを取り付ける。そしてフランジナットで仮止めする図8。
16. 仮止め後、中央に取り付けできていることを確認してナットを本締めする。



1. バッテリーボルト2本) 4. バッテリー固定ストラップ
2. ワッシャ (2枚) 5. フランジロックナット2個
3. ボルトチューブ

油圧システムを取り付ける

1. 以下を使用できるように準備するホースガイド、戻り側油圧ホース#3、吸入側油圧ホース#4、ボルト4本 $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ "、ロックナット4個 $\frac{1}{4}$ "。

注 出荷用のホースガイドに取付けてあるホース、戻り側ホースと吸入側ホースを外します。

2. 2本のボルト ($\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ ") とフランジロックナットを使って、ホースガイドを油圧タンクのブラケットに取り付ける (図 9)。

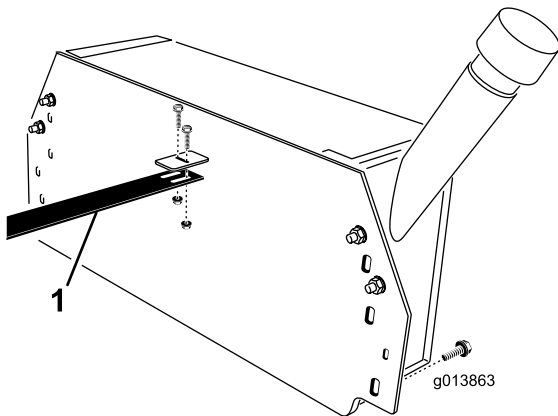


図 9

1. ホースガイド

注 シャーシの後壁から取り付けボルト2本を外す。外したボルトを使用してタンクを取り付ける。

3. 4本のボルト ($\frac{3}{8} \times 1$ ") とナイロン製ロックナットを開梱する。油圧タンクを下から支えながら、ホースガイドと油圧ホース #3 および #4 を、シャーシの後部壁の中央についている大きな穴に通し、シャーシの後部壁に油圧タンクを密着させる。そしてクランプかボルトを使ってその位置に油圧タンクを仮止めする。

注 ホースガイドは、シャーシの前側の中央の穴を通るようになります。この作業は2人で行うほうが良いでしょう。

4. リターン側油圧ホース#3と吸入側油圧ホース#4を、油圧タンクについているそれぞれのフィッティングにしっかりと接続する。

注 ホース #3 とホース #4 とは外径が異なるので、所定のカップラ以外には接続することができません。

注 ホースを接続する時、タイヤとの間に十分な距離があることを確認する。

5. ホースガイドが、バッテリーレイの垂直の足から出ているタブの上に載るようにする (図 10)。もしホースガイドの中のホースがバッテリーレイのタブの穴に合わない場合には、ホースガイドの長さを調整してみるホースガイドを油圧タンクのブラケットに固定しているボルトをゆるめて、ホースガイドを前後に移動させる。

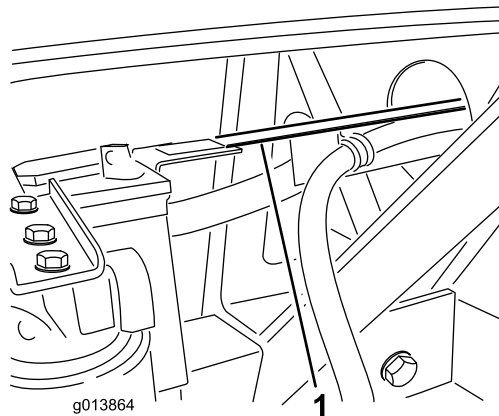


図 10

1. ホースガイド

6. ホースガイドをバッテリーレイのタブに取り付けるボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2本、フランジロックナットを使用する (図 10)。

7. 先に外しておいたボルトとキットに入っているボルト $\frac{3}{8} \times 1$ "、ナイロンロックナット、平ワッシャを使って、シャーシの後壁に油圧オイルタンクを取り付け、ボルトナットを本締めする。

8. 油圧ホース#3をフィルター出口に接続する (図 11)。

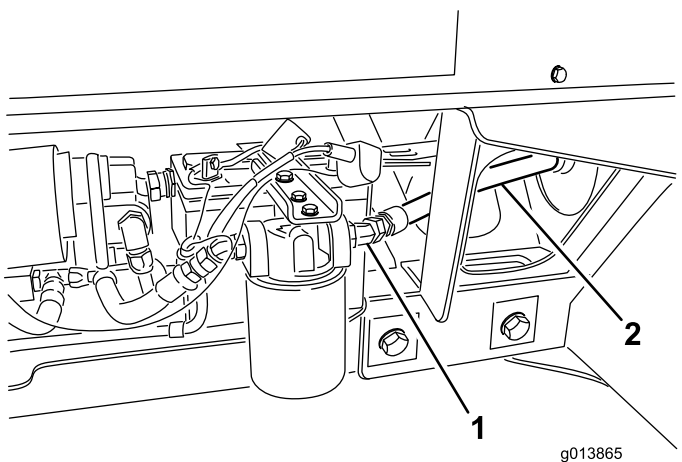


図 11

1. フィルタの出口
2. 油圧ホース #3

9. 油圧ホース#4を油圧ポンプの吸入側に接続する図 12。

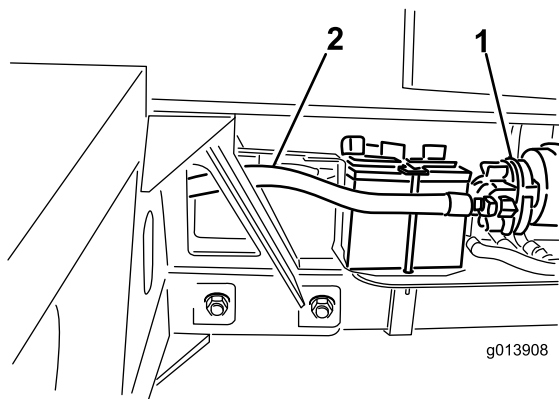


図 12

1. 油圧ポンプ 2. 油圧ホース #4

10. SH バージョンモデル 44701では、機体の前部にカバーを固定している固定具を取り外し、カバーを外して脇においておく図 13。

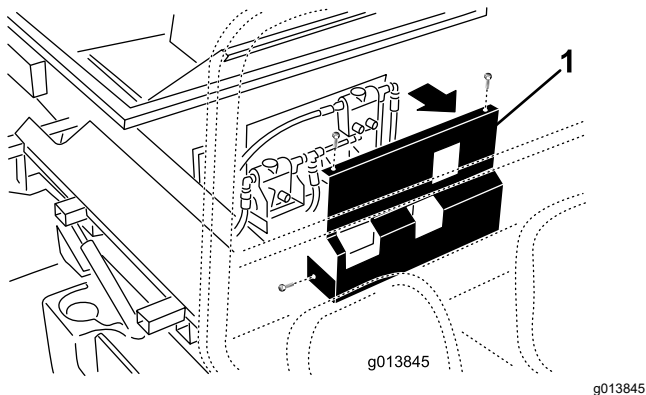


図 13

1. カバー

11. ベースモデルの高圧側および戻り側の油圧接続を確認する。SHバージョンについては図 14 を参照、EHバージョンについては図 15 を参照。

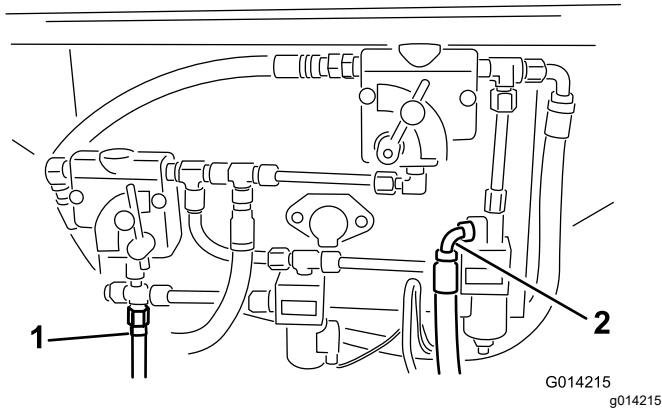


図 14

図は SH バージョン

1. 加圧側 2. Return 戻り側

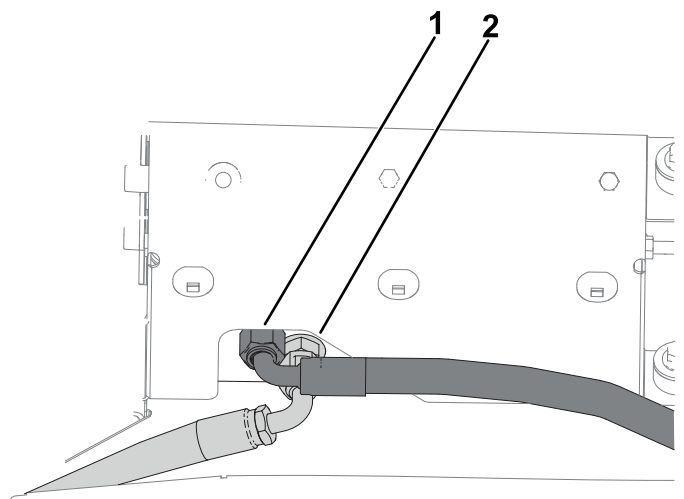


図 15

図は EH バージョン

1. リターン戻り側 2. 加圧側

12. 加圧ホースとリターンホースが図 14と図 15 に示す位置に以前に取り付けられている場合は、それらを取り外す。

注 油圧ホースが機械の高温部、鋭利な部分、可動部分を確実に避けるようにしてください。特にマフラーからはできるだけ離して取付けてください。

13. 油圧ホースを油圧コントロールパネルに接続する。SH バージョンについては 図 14 と 図 16 を参照、EH バージョンについては 図 15 と 図 17 を参照。

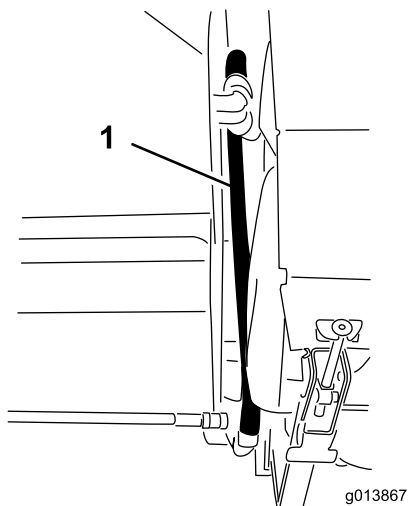


図 16

図は SH バージョン

1. ホースの径路

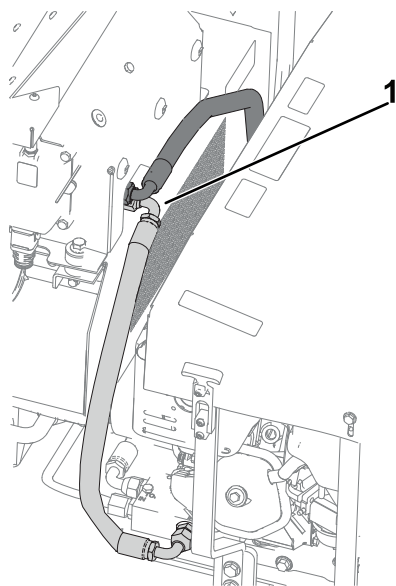


図 17

図は EH バージョン

1. ホースの径路

14. 全部の油圧接続部を本締めする。

組み立てを完了する

1. ツインスピナーアセンブリを元通りに取り付ける。
2. この黒線と既存の黒いバッテリーケーブルを、バッテリーのマイナス端子に接続し、白線と既存の赤いバッテリーケーブルを、バッテリーのプラス端子に接続する。
3. 中間ワイヤハーネスを、機体の電源ワイヤハーネスのコネクタに接続する 図 18 または 図 19。

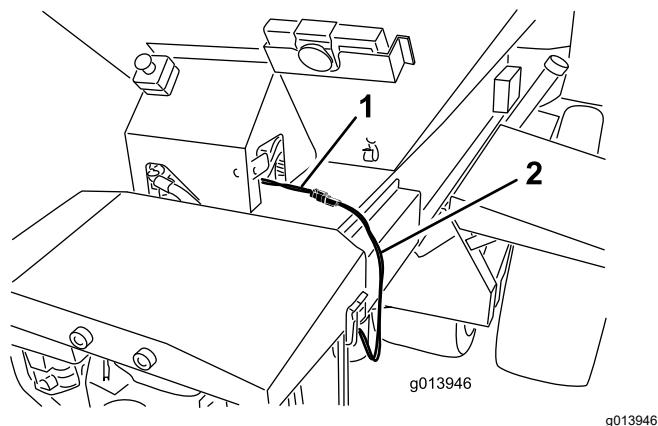


図 18

1. 電源ハーネス

2. 中間ワイヤハーネス

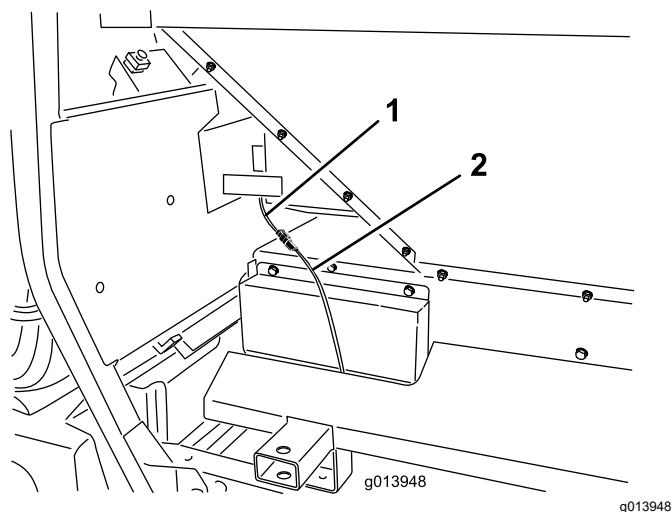


図 19

1. 電源ハーネス

2. 中間ワイヤハーネス

4. エンジンを始動する前に、適切な粘度のエンジンオイルを 1 リットルほど入れる [エンジンオイルについて \(ページ 10\)](#)。

重要 このエンジンは出荷時にオイルを入れておりません。オイルを入れずに始動させるとエンジンが破損する可能性があります。

5. エンジンを初めて作動させる前に、エンジンオイルの量を点検する [エンジンオイルについて \(ページ 10\)](#) を参照。
6. 油圧オイルタンクに適切な油圧オイルを入れる [油圧オイルについて \(ページ 11\)](#) を参照。

重要 油圧システムは、実際に駆動するまでは、完全にオイルが充填されていない状態です。初めて油圧システムを使用した後は、油圧オイルの量を確認し、必要に応じて適正量までオイルを補給してください。

運転操作

⚠ 注意

パワーバックに対して作業を行う場合は全てのコントロール装置が OFF になっていることを確認する。

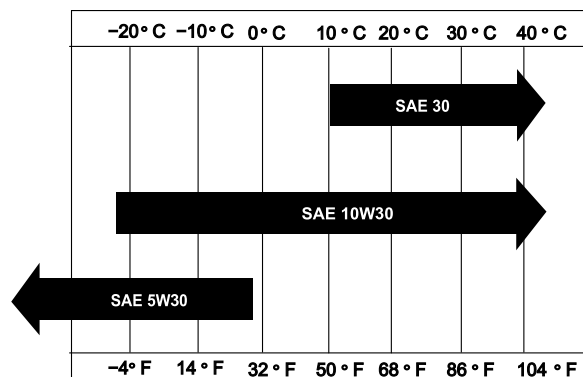
エンジンオイルについて

重要 出荷時にエンジンオイルを入れておりません。さらに詳しい情報については、エンジンマニュアルをご覧ください。

エンジンはオイルを抜いた状態で出荷されていますので、始動前にオイルを約 1 リットル入れてください。

初めての運転の前に必ずオイルの量を確認し、その後は毎日点検してください。

オイルは、API 米国石油協会の SJ、SL またはそれ以上のグレードの高品質オイルを使用します。オイルの粘度 - 重量 - 外気温に応じて選択する。図 20 図に、外気温と粘度の関係を示します。



g018667

g018667

図 20

1. エンジンが水平になるようにして駐車する。
2. キャップ兼ディップスティックの周囲をきれいに拭く。
3. オイルフィルタのキャップ/ディップスティックを左に回して抜きとる。
4. スティックをウェスできれいに拭き、もう一度差し込む。スティックはねじ込まずに差し込むこと。
5. ディップスティックをもう一度抜きとって、オイルの量を点検する。
6. オイル量がディップスティックの最低限度マークより下、またはその付近にある場合には、ディップスティックの最高限度マークのすぐ下までオイルを補給する。

重要 入れすぎないように注意してください。

7. エンジンオイルの量をもう一度点検する。

8. オイルフィルタのキャップ/ディップスティックを元通りに取り付け、こぼれたオイルをふき取る。

重要 オイルの量が適切であることを確認してください。エンジンオイルの量が適切でないと、クランクングしてもエンジンが始動しません。

油圧オイルについて

出荷時に油圧オイルを入れておりません。高品質の油圧作動油 32.9 リットルを入れてください。初めての運転の前に必ず油量を確認し、その後は毎日点検してください。推奨オイルの銘柄を以下に示します

Toro プレミアムトランスミッション/油圧トラクタオイル (19 リットル缶または208 リットル缶。パーツカタログまたは代理店でパーツ番号をご確認ください。

使用可能な他のオイル Toro オイルが入手できない場合は、以下に挙げる特性条件および産業規格を満たす石油系のユニバーサル・トラクタ油圧オイル UTHF を使用することができます。合成オイルの使用はお奨めできません。オイルの専門業者と相談の上、適切なオイルを選択してください

重要 油圧システムは、実際に駆動するまでは、完全にオイルが充填されていない状態です。初めて油圧システムを使用した後は、油圧オイルの量を確認し、必要に応じて適正量までオイルを補給してください。

注 不適切なオイルの使用による損害については弊社は責任を持ちかねますので、品質の確かな製品をお使い下さるようお願いいたします。

物性

粘度, ASTM D445	cSt @ 40°C 55 62 cSt @ 100°C 9.19.8
---------------	--

粘性インデックス ASTM D2270	140 - 152
---------------------	-----------

流動点, ASTM D97	-37°C - 43°C
---------------	--------------

産業規格

API GL-4, AGCO Powerfluid 821 XL, Ford New Holland FNHA-2-C-201.00, Kubota UDT, John Deere J20C, Vickers 35VQ25, および Volvo WB-101/BM

注 多くの油圧オイルはほとんど無色透明であり、そのためオイル洩れの発見が遅れがちです。油圧オイル用の着色剤 20ml 瓶をお使いいただくと便利です。1 瓶で 15-22 リットルのオイルに使用できます。パーツ番号は P/N 44-2500 ご注文は Toro 代理店へ。

燃料についての安全事項

- 燃料の取り扱いに際しては安全に特にご注意ください。燃料は引火性が高く、気化すると爆発する可能性があります。
- 燃料取り扱い前に、引火の原因になり得るタバコ、パイプなど、すべての火気を始末してください。
- 燃料の保管は必ず認可された容器で行ってください。

- エンジン回転中などエンジンが高温の時には、燃料タンクのふたを開けたり給油したりしないでください。
- 締め切った場所では燃料の補給や抜き取りをしないでください。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、機械や燃料容器を保管格納しないでください。
- 燃料がこぼれたら、エンジンを始動せずにマシンを別の場所に動かし、気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけないでください。

燃料を補給する

燃料タンク容量 6.1 リットル

使用推奨燃料

- 機械の性能を最も良く発揮させるために、オクタン価 87 以上の、きれいで新しい購入後 30 日以内無鉛ガソリンを使ってください。オクタン価評価法は (R+M)/2 を採用。
- エタノール エタノールを添加 10% までしたガソリン、MTBE メチル第 3 ブチルエーテル添加ガソリン 15% までを使用することが可能です。エタノールと MTBE とは別々の物質です。エタノール添加ガソリン 15% 添加=E15 は使用できません。エタノール含有率が 10% を超えるガソリンたとえば E15 含有率 15%、E20 含有率 20%、E85 含有率 85% は絶対に使用してはなりません。これらの燃料を使用した場合には性能が十分に発揮されず、エンジンに損傷が発生する恐れがあり、仮にそのようなトラブルが発生しても製品保証の対象とはなりません。
- ガソリン含有メタノールは使用できません。
- 燃料タンクや保管容器でガソリンを冬越しさせないでください。冬越しさせる場合には必ずスタビライザ品質安定剤を添加してください。
- ガソリンにオイルを混合しないでください。

バッテリーを充電する

⚠ 警告

充電中は爆発性のガスが発生する。

充電中は絶対禁煙を厳守。バッテリーに火気を近づけないこと。

⚠ 警告

バッテリーの端子に金属製品やトラクションユニットの金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子は金属と接触させてはならない。

⚠ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

1. バッテリートレイからバッテリーを取り出す。
 - A. バッテリー押さえを外して、トレイからバッテリーを取り出す。
 - B. バッテリーのマイナスケーブル黒をマイナス端子に固定しているキャリッジボルトとナットを外してマイナスケーブルを外す。
 - C. バッテリーのプラス+ケーブル赤をプラス端子に固定しているキャリッジボルトとナットを外してプラスケーブルを外す。
2. バッテリーの上面をきれいに清掃する。
3. 充電器に接続し、充電電流を 3-4 A にセットする。3-4 A で 4-8 時間充電する。
4. 充電が終わったらチャージャをコンセントから抜き、バッテリー端子からはずす。
5. バッテリートレイにバッテリーを取り付ける。
6. 先ほど外したキャリッジボルトとナットを使って、バッテリーのプラス+ケーブル赤をプラス端子に固定するショートを防止するため、プラス端子にゴム製キャップを取り付ける。

7. 先ほど外したキャリッジボルトとナットを使って、マイナス黒ケーブルをバッテリーのマイナス端子に取り付ける。
8. 両方の端子部にワセリン Grafo 112X: P/N 505-47 を薄く塗る。
9. バッテリー押さえを取り付けて、バッテリーをトレイに固定する。

バッテリーの整備

バッテリーのケーブルは接触不良にならぬよう端子にしっかりと固定してください

⚠ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

端子が腐食した場合は ケーブルを外しマイナスケーブルから先に外すこと、クランプと端子とを別々に磨いてください磨き終わったらケーブルをバッテリーに接続しプラスケーブルから先に接続すること、端子にはワセリンを塗布してください

⚠ 警告

バッテリーの端子に金属製品やトラクタの金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。
 - バッテリーの端子と金属を接触させない。
1. バッテリーケーブルがケーブルクランプによってしっかり固定されていることを確認する。
 2. バッテリーケーブルクランプと端子に錆が発生していないか点検する以下を行うこと
 - A. バッテリーのマイナスケーブル黒をマイナス端子に固定しているキャリッジボルトとナットを外してマイナスケーブルを外す。
 - B. バッテリーのプラス+ケーブル赤をプラス端子に固定しているキャリッジボルトとナットを外してプラスケーブルを外す。
 - C. ケーブルクランプとバッテリー端子を清掃する。

- D. 先ほど外したキャリッジボルトとナットを使って、バッテリーのプラス+ケーブル赤をプラス端子に固定するショートを防止するため、プラス端子にゴム製キャップを取り付ける。
- E. 先ほど外したキャリッジボルトとナットを使って、マイナス黒ケーブルをバッテリーのマイナス端子に取り付ける。
- F. 両方の端子部にワセリンGrafo 112X: P/N 505-47を薄く塗る。

ヒント

- 機体を牽引車両のクレビスヒッチに接続する。ヒッチピンは牽引車両用に認可されている高張力ピンを使用すること。
- 燃料バルブを開き、スロットルレバーを真ん中の位置にし、チョークを掛けて、エンジンを掛ける。エンジンが掛かったらチョークをOFFにし、スロットルを全開にする。
- 動作確認をする。油圧漏れがないことを確認し、必要に応じて調整を行う。
- 油圧装置の試運転を行ったら、油圧オイル量を確認し、必要なら補給する。

注 運転中にペンダントスイッチやコードを引きずらないよう注意すること。

メモ

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Avenue South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に
列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣
誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
44713	315000001 以上	油圧パワーパック	PROPASS HYD POWER PACK	油圧パワーパック	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付い
たします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることに
よって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
3月 25, 2024

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Avenue. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に
列挙する規制に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣
誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
44713	315000001 以上	油圧パワーパック	PROPASS HYD POWER PACK	油圧パワーパック	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付い
たします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けること
によって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
3月 25, 2024

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何？

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう



警告ガンおよび先天性障害の恐れ —www.p65Warnings.ca.gov.

第65号決議って何？

第65号決議は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。第65号決議の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

第65号決議は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、第65号決議警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきていますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ <https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all>

第65号決議の警告は、以下のうちのどちらかを意味しています 1 ある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないといわれる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

第65号決議警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。第65号決議警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

第65号決議の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが多いです。第65号決議の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、第65号決議では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、第65号決議の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には第65号決議ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- 第65号決議関連で裁判となった企業が、和解条件として第65号決議警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- 第65号決議の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、第65号決議基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないとは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえて第65号決議警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、第65号決議の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。



Toro 一般業務用機器の品質保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro フランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂く必要があります。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するか判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。



Count on it.